

- ◆ 北陸財務局では、地方公共団体が抱える課題の解決に、金融機関の知見が有益な場合が少なくないにも関わらず、地方公共団体と金融機関の相互理解が不十分なため、課題解決に至らない現状に着目。
- ◆ 当局が、金融機関による地方公共団体の抱える課題解決についての説明会を企画するなど、金融機関の知見を活かして解決できる仕組みを構築。なお、周知にあたっては、財務局幹部が地方公共団体の首長等に直接説明する等、積極的な働きかけを実施。
- ◆ 今後は、取組状況を継続的にフォローアップするとともに、地域にこの仕組みを周知することで、より多くの個別課題の解決を目指すこととする。

1. 成果事例の概要等

≪地方公共団体の抱える課題の現状≫

【地方公共団体】

- 地域の課題や地方公共団体自身の課題に対し、「**金融機関にどのような支援をしてもらえるのかわからない**」との声。

【金融機関】

- 「**有益な提案を行っても、成果に結びつくことが少ない**」、「提案等がトップまで上がっていないではないか」との声。

【財務局】

- 財務状況把握等を通じ、地方公共団体の抱える課題の把握や一般的なアドバイスはできても、**具体的な解決策までの提案は難しい**。

⇒ 地域の課題を整理し、課題解決に知見がある金融機関にどのようなことができるか提案してもらうことを企画。

≪課題解決のための仕掛けづくり≫



…例えば

公共施設の維持・運営コスト削減、公立病院や上下水道のコスト削減、移住者向けの特色ある公営住宅、観光振興のマーケティング、創業支援、農林漁業の6次産業化など

2. これまでの取組の成果等

～地方公共団体の抱える課題解決案についての説明会を実施～



・地域の課題解決に取り組む金融機関に対し、地方公共団体から個別課題の相談があまり無かった状況を踏まえ、石川県の地方公共団体が金融機関と連携して取組を進めてもらうため、類型化した課題に係る説明会を実施。（地域の結節点に）
・課題解決には、トップによる決断が必要な案件も少なくないため、当局幹部が直接首長に説明。

- 3つの地方公共団体から、個別課題についての相談があり、現在、政府系金融機関2機関が具体的解決策を検討中。

- ・ 起業家育成賃貸施設に入居している企業が他へ移転する際に、資金面でサポートする仕組みを整備したい。
- ・ 創業支援ワンストップサービスの枠組みを整えたものの、創業者や他市からの移転者へのサポートが機能していない。
- ・ 上下水道事業の包括的民間委託を検討中であり、アドバイザリー業務の発注を検討。

3. 今後の課題と北陸財務局の対応

≪今後の課題≫

- より多くの地方公共団体から、より多くの個別課題の相談を引き出し、金融機関の支援のもと、課題の解決に繋げる。
- 財務事務所管内でも同様の取組を行うことを検討。

≪今後の北陸財務局の対応≫

- 地方公共団体と金融機関の相談状況を適宜、フォローアップ。
- 必要に応じ、連携協定等を結んでいただくなど、注目度を高めるための情報発信に努め、より多くの相談等が行われる雰囲気醸成する。

より多くの課題解決に繋がるよう適時・適切なフォローを実施する必要。